

everiGo-WEB系システム開発プログラマ育成科 プログラム概要

科目			時間	内容
必須	就職支援	就職支援セミナー	10	キャリアカウンセリングの案内、およびビジネスマナー、コミュニケーションセミナー等の就職支援セミナーを行う。また、受講生は若者ワークプラザ北九州にて任意のセミナー（本コースで定めるもの以外）を任意のタイミングで受講することができる。
必須	基礎学習	ITリテラシー	20	基礎的な情報モラル・情報セキュリティの知識、文書作成や表計算等のオフィススキルを習得する。
必須		IT基礎・情報システム概論	40	IT系企業において、エンジニアに限らず社会人として最低限必要とされる情報系の専門用語と概念を理解できるようになるために、ITパスポートの分野に基づく情報、数学、アルゴリズム等の基礎理論、OSやソフトウェア、ネットワーク、マルチメディア等について学ぶ。
必須		WEB基礎	20	プログラマの卵が最初に直面する業務として、他者が開発したプログラムの解読を体験し、解析方法を学ぶために、シンプルなWEBサービスの解析を行う。ここでGitHub、Docker、VSCODE等のプログラム開発環境を学び、課外時間にもプログラムを自由制作できる環境を受講生自身が整備する。
必須	スキル演習	プログラミング基礎	30	「現在のWEBシステムができること」を理解するために、HTML5/css3(Sass)を中心に学習する。ここで「WEBページを創作する楽しみ」に共感できるかどうかをプログラマとしての資質を見る。さらに、スクリプトベースのプログラミング言語としてJavaScriptやPHPを学び、処理系を含めたWEBシステムを理解する。題材としては、オブジェクト指向や連想配列等には触れず、FizzBuzz問題等のゲームレベルの「プログラミングの楽しさを体験できる」例題をこなしていく。
必須		データベース基礎	30	データベースシステムに必要な4つの主要機能である「Create（生成）」「Read（読み取り）」「Update（更新）」「Delete（削除）」（CRUDと呼称）のうち、まずReadを中心に学習を行う。その演習の過程においてCreate、Update、Deleteにも触れていく。
必須		システム開発プログラミング基礎	90	WEB基礎で触れたWEBサービスに、プログラミング基礎、データベース基礎で習得した知識とスキルを活かして機能追加のプログラミングを行っていく。ここで、GitHubでのコード管理のより実践的な使い方や、プロジェクト管理及び動作テストについて学ぶ。
必須	実践トレーニング	グループワークプログラミングI	120	企業と共同で、実際のシステム開発案件及びそれに模した実践をグループワークにて行う。システム開発プログラミング基礎の発展系を題材とする。スクラムのスプリントの手法で開発を進める。グループワークはテレワーク型を基本とし、要所で集合型を組み合わせる。
選択必修		インターンシップ	60	企業相談会を開催し、受講生が就業動機や自己PRにあわせて、これまで習得した知識とスキル等について連携企業に発表し、受講生とインターンシップ先企業とのマッチングを行う。本プログラム受講過程では、受講生の意欲やスキルをインターンシップ候補企業と随時共有するために、課外時間を含み、受講生が知識とスキルの習得過程で自由制作するプログラム等をポートフォリオとして連携企業に公開（GitHubを活用）する。この公開を通じて、随時、連携企業からインターンシップに招待されることがある。（過程中にインターンシップに招待された受講生は、IT基礎・情報システム概論からグループワークプログラミングIについては認定修了とする。）
選択必修		グループワークプログラミングII	60	企業相談会の段階でインターンシップ先をマッチングしなかった受講生については、引き続き、企業と共同で実際のシステム開発案件及びそれに模した実践をグループワークにて行う。

9月

10月

11月

12月

1月

2月